

誰もが住みやすいあんしんのまち  
コーディネート  
事業について

---

令和2年2月10日（月）

札幌市保健福祉局

障がい保健福祉部障がい福祉課



# 災害対策は日頃の準備が大切

---

■あちらに耳（目）の不自由な方がいる。あのお宅にはベッドに寝たきりのご老人がいる。あそこには、電動車椅子を使用している方がいる。あの方は酸素ボンベを手放せないはず……他にもさまざま  
⇒誰かの手助けが必要だったり、避難時に必要な物を用意しておかなければならない方など、どこにどんな方がいるのか把握しておくことが大切。

# 障がいのある方の避難支援で、 お困りのことはありませんか？

---

- ◆ 避難行動要支援者名簿情報の提供を受けたが、障がいの種類によって、どのような接し方をすれば良いのか分からない。
- ◆ ○○に障がいがある方の個別避難計画を考えたいが、どのような配慮を行ったら良いのか分からない。

# 障がいのある方の避難支援 を後押しするために

---

札幌市では、災害が発生したときに障がいのある方の避難支援を行う町内会・自治会、地区社会福祉協議会（福祉のまち推進センター）等に対して、助言等を行うコーディネーターを派遣します。

※ 障がい者団体、障がい者支援団体からの派遣要望にも対応いたします。

# 北海道胆振東部地震では

---

コーディネーターが支援した団体の関係者から、実際に障がいのある方に声がかかけやすくなった、発災後速やかに名簿による安否確認を実施できた、という御報告をいただいています。中には手分けして5～10分で安否確認を完了した団体もあり、日頃の準備が生かされた事例と言えます。

# 地域の皆さんにもできることがあります

---

30/9/18道新 1面 高層マンションのエレベーターが停止し、「高層階の高齢者に水を届けたい」とSNSで中高生が呼びかけ、給水袋で水を届けるボランティア活動を行った事例。

30/9/20道新 札幌市内の町内会で、お祭りでも利用した発電機を思い出し、避難所で動かして携帯電話の充電等に役立てた事例

30/10/5道新 安平町の町内会で、発災直後に避難所を開設。住民やグループホームの高齢者をスムーズに避難させ、防災倉庫に保管の自家発電機で電気も確保。住民らが炊き出しも行った事例。

# コーディネーターが可能な 支援(1)研修会・講演会

---

これまでの主な活動内容

- 町内会等に対して、「要配慮者の安否確認」、「障がいのある方との接し方」、「避難時の留意点」などについて、研修会・講演会を行う。



# ヘルプカード

---



# コーディネーターが可能な 支援(3)避難訓練への助言

---

これまでの主な活動内容

- 障がい福祉団体と、避難行動要支援者名簿、避難体験会等に関して意見交換を実施。
- 町内会の避難訓練の企画案へ助言。

# コーディネーターが可能な 支援(4)避難訓練への参加

---

これまでの主な活動内容

- 地域住民の有志による地域団体と、病院、ケアマネ、行政等の支援関係者が集まり、失語症で車椅子を利用している要配慮者の方の介助実技を指導し、避難訓練を実施しました。
- (別紙、活動報告書の事例①)

# 地域に密着した支援のために

---

コーディネーターのほかに、市内10ヶ所の障がい者相談支援事業所に地域支援員を配置しています。

地域支援員は、障がいのある方についての地域での相談支援の専門家で、災害時要配慮者避難支援活動の推進への協力や地域における障がい者の理解促進活動の支援等を業務内容としています。

# 市役所の担当

---

## 災害全般について

- ・危機管理対策室

## 福祉避難場所について

- ・保健福祉局総務課庶務係

## 要配慮者避難支援について

- ・保健福祉局総務課地域福祉推進係

## あんしんのまちコーディネーター事業について

- ・保健福祉局障がい福祉課就労・相談支援担当係
- 

# 区役所の担当

---

## 区災害対策（防災訓練）について

- ・ 各区総務企画課地域安全担当係

## 要配慮者避難支援（名簿提供）について

- ・ 各区保健福祉課活動推進担当係

## 障がいのある方への個別支援、各区自立支援協議会地域部会について

- ・ 各区保健福祉課主査（個別支援）
- 